

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.90	30.89	75.81	4,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,416	241.01	55.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,101	1.40	2,929.29

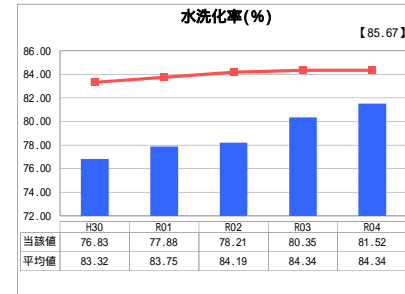
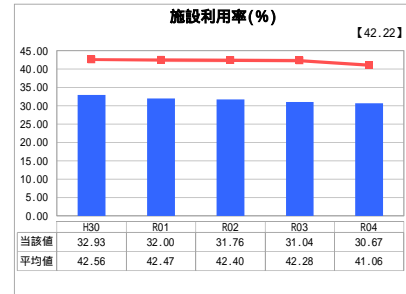
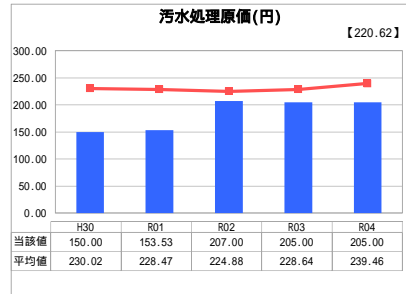
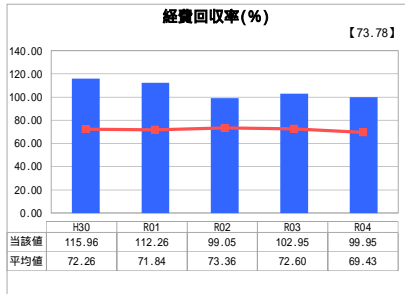
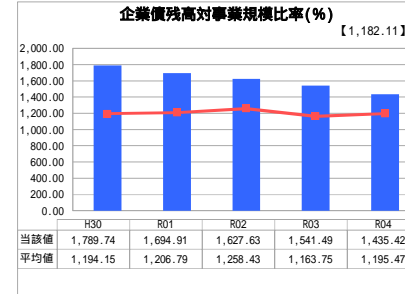
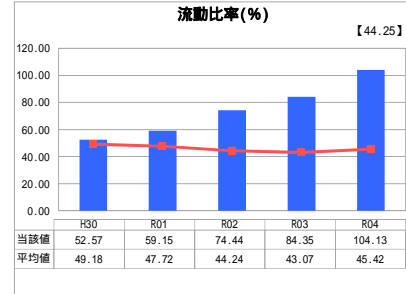
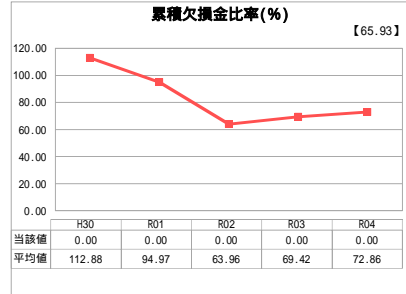
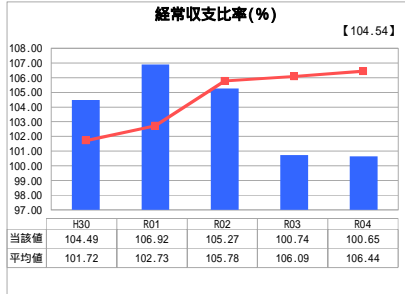
グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

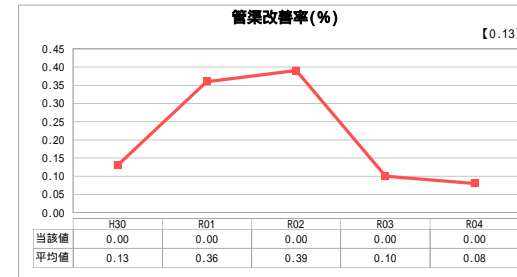
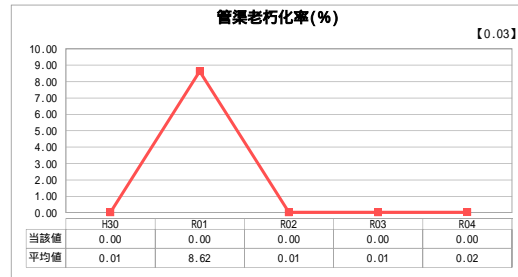
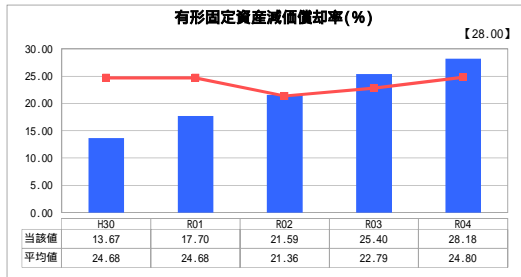
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は0.09ポイントの減となったが、100%超を維持した状態にある。累積欠損金は当町では発生していない。

流動比率は類似団体平均値を大きく超えており良好な状況である。

企業債残高対事業規模比率は、企業債償還のピークが過ぎ、下降傾向にある。経費回収率は汚水処理費の増により100%以下となり、汚水処理費削減への取組が必要となっている。

汚水処理原価は汚水処理費及び有収水量双方が増のため、前年と同数値となった。

施設利用率。水洗化率は類似団体平均値と比べ低い状況で、近年の水の使用量低下傾向及び少子高齢化による使用者の減少等があり、接続促進方法の検討等が必要がある。

経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減、接続率向上に向けた検討、施設の統廃合の検討等を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が2.78ポイント増加し、類似団体平均値より高い数値で推移している。法定耐用年数に近づいている固定資産が増加傾向にある。管渠の更新・改良は現在予定なし。

施設供用開始から23年を経過し、経年劣化による修繕等を実施している。

機械設備等については、R2年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、R3年度より改善を進めている。

全体総括

R2年度に下水道ストックマネジメント計画を策定し、R3年度より計画に沿った改善を実施している。

R4年度はマンホールポンプ設備改善事業を実施した。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。